58 号
なでしこ通信

平成 28 年度　夏号

さあ、夏本番が始まります。今年の夏は、暑くなると言われてきましたが、とうとう、アメリカの NASA も「史上最も暑い夏」と予報したとか。

でも、夏ならではのイベントが次々と開催されます。夏をしっかり楽しむために、今からできる夏バテ対策を。私は、しっかり食べ、しっかり運動し、そしてよく眠ることに心がけたいと思っています。みなさんは？

乳児院職員紹介

◇　森田 美咲（新人）

4 月から静岡乳児院で里親・家庭支援とボランティアの担当をしています。里親さんには、ボランティア活動や施設実習を通して、子供たちのことをよく理解し、良き里親として活躍してもらいたいと願っています。　仕事にも市内・地理にもまだまだ不慣れですが、毎日子供たちの幸せを願いながら、東へ西へ北へ南へと出掛け、精いっぱい頑張りたいと思います。

アドバイザーによる家庭訪問・面接

現在の家庭訪問は、支援センターの根生とトマジが里親の認定前や、子どもを委託する前後に、また１０名の里親相談員が定期的な訪問を担っています。

このたび、訪問・面接充実のため、アドバイザーの漆畑光時さんと佐野多恵子さんにも里親さんの家庭訪問や面接にご協力いただくことになりました。

支援センターが連絡調整し、７月からスタートします。
よろしくお願いします！

【報告】平成 28 年度　第 1 回スキルアップ研修

講演

乳児期から思春期まで

「発育期に沿った愛着形成」

講師：ヘネシー・澄子　氏

ヘネシー・澄子氏プロフィール

子どものトラウマ、親子の愛着障害治療の第一人者

クロスロード・フォー・ソーシャルワーク社　社長　東京福祉大学名誉教授

開催日時：平成２８年6月5日（日）10：00～15：３０

会　　場：（静岡県コンベンションアーツセンター）グランシップ　会議室９10

参 加 者：大人１12名、子ども38名

保　　育 ： 保育支援グループすわん・きのいい羊達・常葉大学短期大学部

（要旨）

１．日本の里親に求められること

里親宅に来る子どもたちは、実親との愛着関係の形成に問題があり、正常な発育や成長過程が中断されている。子どもたちのことをよく知り「トラウマを癒せる里親」になることが求められている。

２．安定した愛着が子どもの人生を支える

親との愛着の絆をもとに成長発達した子どもは「自分には価値がある」「保護者達は自分の信頼できる安全基地である」「自分の人生は生きるに値する」と感じ、一生のうちに起こる様々な苦難を乗り越えていくことができる。

３．発達段階に沿った愛着形成

①　乳児期（1 才まで）

深い愛着関係が築かれる時期。乳児期の課題は、保護者を信頼し、言語発達を促し、共感能力の基礎を作ること。家庭のルールに従い、見知らぬ人を警戒することを学ぶ時期でもある。保護者の役割は「安全」の保障である。

② 幼児期（1 才から 3 才）

幼児の脳はまず右脳（感性・映像等）が発達し、3・4 歳までにゆっくり左脳（理性・言語等）の発達が追いつく。うまく伝えられないため癇癪を起し攻撃的になったり、爆発的発達でイライラする時期。身振り、表情、短い単語での話し方が通じやすい。

③ 学童期（4・5 才から 3 年生）

思考をつかさどる前頭葉の発達が始まる。目の届かないところでの問題が起こる時期。学校や保育園と緻密な連携が必要。安定した愛着形成ができていない場合、里親委託後、盗み、嘘、暴力などの問題行動を起こし、実親に対する怒りを里親にぶつけたり、支配欲が強く同級生から嫌われることもある。しかし、里親の適切なかかわりで健全な人間関係を作ることができる。ハグや子どもの感情を代弁してあげることで愛着を深める時期。

④ 学童期後半（小学校 4 年生から 6 年生頃）

自分の意見を主張するようになる。同じ年頃の子どもたちとの交友関係が広がっていく。いじめや喧嘩は子ども同士の問題解決方法を学ぶ過程と考えること。子どもの行動範囲やルールを広げていき、家庭の仕事を担当させることで子どもは行動に責任を持つことを学ぶ。子どもの肯定的な行動や考えを褒め、子どもに「あなたを誇りに思っている」とを伝える。

⑤ 思春期（12 才から 16 才）

前頭葉の脳回線が急激に増え、脳がイライラする時期。本当の反抗期が始まる。この頃からの脳は、交友関係・趣味・興味・体験など自分で築いていく。感情のコントロールはまだできない。親は傾聴と理解に努め、子どもの相談役になり、子どもに責任を持たせ、健康管理をする。子どもが問題を起こしたら、夫婦（大人同士）がチームになり、子どもの行動に焦点を当て、罰ではなく帰結（結果）を与える。

⑥ 青年期（20 代初期まで）

剪定プロセス（使われるものが強化され、使われないものが消えていく）。
20～22 歳で前頭葉が発達を遂げ、成人の脳になる。過去の学びからの応用で新しい知識を生かすことができる。未来を予測し、忍耐をもって長期計画を作成し実行できる。

４．質疑応答

親子間では親が主導権を持つことや睡眠時間の大切さのほか、トラウマ治療 EMDR（眼球運動脱感再処理法）の紹介、ハグのデモンストレーションを披露してくださった。

教えて　　‼となりの里親さん

Q　我が家の２才の子どもは思い通りにならないと、あたりかまわずだだをこねます。
乗り物の中や買い物中のスーパー、町を歩いている時に「イヤダー！」が始まると焦って頭が真っ白になってしまいます。何かいい方法はありませんか？

夢のような解決策はありませんが、気分転換のアイデアをいくつか紹介します♪

☝日頃、興味を持っているおもちゃや絵本などをいつもバッグにこっそり入れて持ち歩くこと。
　手こずってきたら２点を出して見せ「どっちにする？」と**自分で選択させる。**
　それでもダメだったらもう一つ追加して、
「これと、これと、これ、どれがいいかな？」
歩いている時だったら、
「おんぶにする？抱っこにする？」「歩く？」「それともここで待ってる？」とりあえず**自分で選択することで納得しやすくなります。**

☝この時期は普段大人が使っているものに興味を持ちます。
　とりあえず、身の回りにある安全なものであれば何でもおもちゃに変身します。

☆使わなくなった財布やペンケース
　カード類の出し入れ、チャックやパッチンを繰り返す。
☆みかんを入れるネット
　くるくる巻いてリンゴ。大きく広げて帽子。
☆ハンカチ
　高く上げて受け止めたら上手！いないないばあ。
　キティちゃんのリボン。バナナ。お化粧のパフ。ねずみさん。
☆スカーフや風呂敷
　正義の味方や妖精に早変わり♪

まだまだ無限にあります!!!

　だだっこ対策で、お金のかからない魔法の言葉やアイデアをみなさんと一緒に出し合えたら楽しいですね。皆さんの声も聞かせてください。

【報告】平成 28 年度　第2回スキルアップ研修

「子どもの可能性」

大丈夫だよと言ってあげるために

開催日時：平成 28 年6月 21 日（火）１０～１２時

会　　場：少年の家

講　　師：しずおかジョブステーション東部　就職サポーターセンター長野中和夫氏
（NPO 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会／認定キャリアカウンセラー）

参 加 者：１９名

保　　育 ： ボランティア2名

(研修要旨)

・マイナス思考からプラス思考へのくせづくり
・不登校・引きこもりの子どもが親に望むことは
　「長い目で待って! 」「相談に乗って!」
・「でも回路」をやめるには、１日をプラスで終わる。
・ストレスを感じた時こそ「支えたり支えられたり」

～質疑応答より～

Q1：10 代の女の子がアニメの声優か漫画家になりたいと言っています。こうした子どもにはどんな風に話をしたらいいでしょう？

A1:そのエネルギーは大変結構。この段階で親が現実的な厳しい話をする必要はありません。自分の夢を持っていることは素晴らしい。大人がまじめに応援し一緒に調べたり体験する中で具体的に子どもが選択していくでしょう。

Q2：幼児の男の子はお友達とうまくコミュニケーションがとれません。社交性を引き出すにはどうすればいいでしょう。

A2：「会話ができない」イコール「コミュニケーション能力がない」ではありません。得意なやりかたで人とつながればいいのです。
現代はコミュニケーションをとる場面自体が少なくなってきています。
親が意識して設定する努力をしましょう。

（プライバシー保護のため一部変更しています）

活動報告

1. 理事会･総会

平成28年度理事会（第１回･第２回）と通常総会が去る６月15日（金）に開催されました。今年度は、任期満了に伴う役員改選の年なので、通常総会で選任された理事による正副理事長選出のため、通常総会終了後、第２回理事会を開催しました。副理事長の退任に伴い、新しく副理事長が選出されたほか、他の役員は再任となりました。前副理事長には、この間、大役ご苦労様でした。また、新しく就任される副理事長には、課題山積ですが、よろしくお願い致します。

また、新年度予算の関係では、消費税対応や新会計基準への移行に伴う会計処理の適正化のため、３月理事会・臨時総会で承認された「平成２８年度当初予算」の差し替えについて、理事会で承認（注）いただきました。

新基準での会計処理について、運用してみないと分からないことが多々あるので、市民自治推進課や会計士・司法書士などにアドバイスをいただきながら、認定NPO法人の認証の際に受ける市のチェックに耐えられるよう、会計処理の適正化に努めていきたいと思っていますので、ご理解の程、よろしくお願いします。

このほか、「平成27年度 事業報告・収支決算」及び「封筒の発信者（差出人）名の変更」についても承認をいただきました。

（注）　定款変更により、「事業計画及び活動予算」の承認は理事会のみの議決事項となりました。

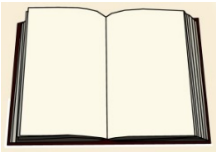
2. 里親会の総会･役員会

静岡グランシップ　参加者６６名

６月５日（日）静岡市里親会総会が行われました。

来賓には、荒田和寿新児童相談所所長、静岡県里親連合会会長、児童家庭支援センターはるかぜセンター長、静岡乳児院院長代理や静岡福祉大学相原教授が出席してくださいました。

会長からは、サロンや研修、里親会の活動等へ積極的に参加していただくことが養育スキルの向上に不可欠と考えているので、是非とも参加して欲しいと会員の皆様にお願いをしました。



3. 里親アンケート調査報告書

昨年７月に実施した「里親アンケート調査」が4名のボランティアや静岡福祉大学相原眞人教授のご協力をいただき、ようやく完成致しました。アンケート調査に回答していただいた里親の皆様、ご協力に心から感謝申し上げます。

報告書は、相原教授が本市における里親の養育の実情や意向を浮き彫りにするため、独自に集計表をまとめられ、それを基に丁寧な解説を加えてくれています。

59ページにも及び、なかなか読み応えがありますが、非常に説得力のある内容となっていますので、ご参考としていただけたら、幸いです。

4 月 13 日（水）	相談員会議	児童相談所にて
4 月 22 日（金）	合同サロンランチ会（お花見は雨天の為中止）	少年の家にて
	参加者　22 人	
4 月 24 日（日）	静岡駿府ライオンズクラブ主催 ＢＢＱ 大会	葵区大間地区にて
	参加者　31 人	
5 月 11 日（水）	相談員会議	児童相談所にて
5 月 13 日（金）	ちびっこサロン	児童相談所にて
	参加者　15 人	
5 月 17 日（火）	里親会役員会	児童相談所にて
5 月 20 日（金）	春風寮　懇談会	春風寮にて
	参加者　15 人	
5 月 23 日（月）	里親サロン	葵区里親宅にて
	参加者　16 人	
6 月 5 日（日）	静岡市里親会総会	静岡県グランシップにて
	静岡市里親会会長賞　葵区M里親	
	第 1 回スキルアップ研修	
	「発達期に沿った愛着形成」	
	講師　社会福祉学博士　ヘネシー澄子氏	
6 月 8 日（水）	相談員会議	児童相談所にて
6 月 15 日（水）	支援センター理事会	児童相談所にて
	支援センター総会	
6 月 21 日（火）	第 2 回スキルアップ研修	少年の家にて
	「子どもの可能性」	
	講師　しずおかジョブステーション東部　野中和夫氏	
	参加者　23 人	
6 月 22 日（水）	ちびっこサロン	常葉大学短期大学部にて
	参加者　11 人	
6 月 29 日　（水）	第 3 回スキルアップ研修	少年の家にて
	「遊びの力で楽しい子育て」	
	講師　静岡県立短期大学　松平千佳准教授	
	参加者　14 人	
6 月 30 日（金）	里親サロン	駿河区里親宅にて
	参加者　16 人	

9 月 5 日（月）「家庭養育の新たな流れに向けて～講演会・シンポジウム」を開催します。

後日詳細をお知らせします。

自立支援へのお礼

県立こども病院の看護師として長年勤務されていた浅原聡子さんを中心に、児童虐待の防止をはじめ、世の中のためになりたいという静岡県内の女性起業家が集まり、「しずおか女性企業家の会」を結成し、社会貢献のための活動をされています。

去る３月に、この会から子ども達のためにと、28 万円を当センターへ寄付していただきました。これを原資に、自立支援事業費 10 万円を４人の子ども達を養育する里親に贈呈させていただきました。

6 月 28 日（火）には、この会が開催した「5 歩目のチャリティｎｉｇｈｔ」にセンター職員の根生が出席し、子ども達の一人が代表して書いてくれた「お礼の言葉」を代読してきました。

編集後記

「しずおか女性企業家の会」からいただいた寄付金に対するお礼の言葉を、自分の夢を実現するため専門学校で学んでいる女の子が子ども達を代表して書いてくれました。

インターネットで、お礼や感謝の言葉の例文をみながら、今の自分の思いを素直に綴ってくれました。

根生さんの代読に、会場の参加者はその内容を聞き漏らすまいと真剣に聞いてくれました。お礼の言葉を書いてくれた女学生に感謝、感謝です！

今回の特集で掲載した第１回スキルアップ研修会の講師を引き受けていただいたヘネシー・澄子さんは、大ファンの里親相談員の提案で実現しました。

神奈川県里親会では、２年越しのアタックでやっと実現したことを事前に聞き、すぐには無理な話と腹をくくっていましたが、本当にラッキーでした。

誠意をもって取り組むことの大切さを、改めて、実感しました。

皆様、暑い夏との予報ですが、どうぞお体に十分気をつけて、乗り切って下さい。

NPO法人 **静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947 静岡市瀬町914番地の417(静岡市児童相談所内)
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　望月　根生　トマジ
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp